

理事長所信

## 基本テーマ：共にめざそう！笑顔あふれる しあわせ創造笑店街

宇治橋通商店街振興組合 理事長 佐脇 至

### はじめに

「幸せ」という言葉を調べると『めぐりあわせがよい・こと（さま）。幸運。』と書いてあります。しあわせの感じ方は十人十色、千差万別です。ここで言う「しあわせ」とは、「心豊かな気持ち」になれたり「ワクワクする気持ち」であったり「自然と笑みがこぼれる」そのようなことを総称して「しあわせ」と呼ばせてください。そんな「しあわせ」に其処此処で、めぐり会える、そんな商店街でありたいと私は思います。

### 混沌の中で

「モノあまり」「情報あまり」の時代に突入しました。そして消費社会は「モノを売り」から「コト売り」へ・・・このようなことが囁かれています。内閣府の実施した「国民生活に関する世論調査」によりますと、今後の生活で「心の豊かさに重きを置きたい」と考えている人は65%に達し、1972年に同じ質問を始めてから過去最高の数字となり、反対に「物の豊かさ」を重視する人は前回より減ったという結果が報告されています。そんな昨今、消費者の購買行動が変化しつつあることを肌で感じておられる商業者も少なくないと思います。商売環境は加速度的に大きく動き出し、そしてそれは、まさに混沌という状況の中にあると思わざるを得ません。

### 「通り」は舞台

宇治橋通りは昨年、電柱が地中化され、空と山が大きく見える素晴らしい景観が広がっています。そして何より、歩きやすい通りとなりました。街を劇場に例えるなら、通りは舞台だと思います。商店街は、お客様にとっても、商店主にとっても、通行者にとってもにぎわいを感じられる舞台でありたいと考えます。舞台は整いました。そして舞台装置は、それぞれの店舗、シナリオは計画、役者はもちろん、それぞれの商業者だと思います。役者は、お客様を楽しませるために、日々演技を磨く、つまり商業活動です。

### 共にめざすもの

「モノの豊かさ」から「心の豊かさ」へ、生活が変化しつつある今、個店レベルは、もちろんのこと、

団体としても、さらに演技を磨くことに尽きると思います。

そして、それらが、お客様、商業者そして地域が、「しあわせ」になれる道だと考えます。

宇治橋通商店街振興組合は、今までの基本方針である「コミュニティタイプの商店街づくり」を継続して進めると共に、変えるべきものと、変えてはいけないものを見据えて、進化し、今後の消費社会に、その存在価値を見出していく所存です。

多くの人々と、「しあわせ」を共有できる！

そんな「しあわせ」を創造できる商店街をめざすために・・・

**HAVE FUN** 楽しみましょう！



# 宇治橋通商店街振興組合 中長期 ビジョン2020

## ～しあわせ創造笑店街への道～

10年後、宇治はどのような街になっているのでしょうか？

そして、宇治橋通り商店街は、どのような通りになっているのでしょうか？

消費者は、もはやモノを並べて売るだけの商店が建ち並ぶ街を望んでいません。

それは、買い物ならもっと便利で快適にできるどころがいくらかでもあるからだと思います。

また、史上始まって以来の人口減少と世界に類を見ない高齢社会の到来という変化が起ころうとしています。

この大きな時代の転換期の中で独自の価値を創造していかなければ商店街の未来はありません。

幸いなことに、宇治橋通りは、定住人口に加えて交流人口の流入があり、来街者に恵まれています。

この強みを活かした商店街づくりを推進していく必要があります。

そこで、宇治橋通商店街振興組合は2020年を目処とした商店街の、ありたい姿を示した「中長期ビジョン」を策定いたしました。

今後、3年間を中期、次の3年間を長期と考えます。

毎年の単年度活動方針を軸に、それぞれの課題と向き合いながら活動します。

理事長所信にも示したように、お客様、商業者そして地域が、三方よしで「しあわせ」になれる・・・

このビジョンは、そのような宇治橋通り商店街をめざすものです。

## 中長期ビジョン2020 8つの柱

- ① コミュニティ
- ② 価値創造
- ③ 観光振興
- ④ 組織力
- ⑤ 研鑽
- ⑥ イベント
- ⑦ 連携
- ⑧ 財政基盤

## 1、安心、安全、笑顔あふれるコミュニティ笑店街づくり

道路整備が完了し、次のステップとして真のコミュニティ商店街へシフトします。

商業という視点からだけでなく、住み、育ち、学び、働き、交流、暮らす、という地域コミュニティの視点を持ち、それらのニーズを満たす拠点になれる商店街を、めざします。

- ① 地域コミュニティの担い手になるための調査、研究
- ② 環境にやさしい商店街の構築
- ③ 独自サイン看板設置の検討、準備
- ④ 各所への防犯カメラの設置（現在3カ所）
- ⑤ 府道から市道へ移管のアプローチ
- ⑥ その他

## 2、伝える力のある商店街づくり

商店街並びに個店の情報をスピーディーかつ、明解に伝えて、価値創造を図り、地域において「どのような存在になれるのか」というポジショニングの確立を図ります。

- ① ホームページの随時更新と再構築
- ② ソーシャルメディアを有効活用した情報発信の実施。
- ③ 商店街マップの改善点の検証、再構築の準備。
- ④ ペーパーチラシの情報発信
- ⑤ スマートフォン等を利用した情報発信の研究、実験。
- ⑥ 商店街価値を向上させるブランディングの研究
- ⑦ その他

※ポジショニングとは

ターゲット顧客の頭の中に、自社製品について独自のポジションを築き、ユニークな差別化イメージを植えつけるための活動。

顧客に自社製品のユニークな価値を認めてもらうことで、競合製品に対して優位に立つことを目的にしている。

## 3、観光客に、リピートしてもらえる商店街づくり

観光を活かした商店街づくりを推進することによって、観光産業のみならず、他分野も活性化する仕組みを模索します。

宇治橋通りの歴史的、文化的な町並みや商業やサービスにふれたり、人との交流や、アート、ショッピング、飲食を楽しめて、観光客が安心して通行できて、また来たいと感じていただける商店街めざします。

- ① 宇治市観光振興計画に基づいた政策
- ② 観光に関する勉強会の実施
- ③ 外国人観光客にやさしい商店街

- ④ 歴史的景観の街並みの再認識による観光資源化
- ⑤ 「通り」を観光地化する研究
- ⑥ その他

#### 4、組織力強化の仕組みがある商店街づくり

情報共有と情報伝達が組織内に迅速で適切に行われる仕組みづくりを行います。  
また、組合員間の商店街活動の参加意識の向上と、コミュニケーションの強化によって、組織力のある商店街づくりへと繋がります。

- ① 迅速、簡素で効率的な情報共有と情報伝達の仕組みの構築
- ② 効率的な組織運営
- ③ 次世代を担う人材の理事登用
- ④ 「しあわせ創造商店街未来予想図集会」の設置
- ⑤ 全商店が加盟店化する仕組みづくり
- ⑥ その他

#### 5、日々、研鑽を積んでいる商店街づくり

商店街が「コミュニティ機能」としての役割を果たすためには、「商機能」を充実させることが不可欠です。そのためには、個店の集客力・販売力を高め、「あの店で買い物をしたい」と、わざわざ足を運びたいような魅力ある店づくりを促進し、個店の繁盛が商店街全体の繁栄に繋がるような仕組みが重要です。そのために、魅力ある店と人を創造するための勉強会を実施いたします。

- ① おもてなし向上に関する勉強会の実施
- ② インターネットの活用に関する勉強会の実施
- ③ パソコン各種ソフトの活用に関する勉強会の実施
- ④ マーケティングに関する勉強会の実施
- ⑤ 個店研鑽の手法の研究
- ⑥ その他

#### 6、にぎわい感と新鮮感があるイベント,販促事業を実施している商店街づくり

過去に開催した各種イベント、セールを検証し再構築のうえに実施します。

- ① 季節セールの手法の再考と実施
- ② 消費行動に繋がる集客イベントの研究、実施
- ③ 新たなイベントの研究と創造、実施
- ④ その他

## 7、地域団体と連携と絆がある商店街づくり

地域住民や行政、大学、企業、NPO等の地域団体と持続可能な連携を模索し、環境、福祉、観光等の地域ニーズに対応した、商店街づくりに取り組みます。

- ① 京都府、宇治市との連携
- ② 商工会議所、観光協会との連携
- ③ 京都文教大学との連携
- ④ 地元、小中高等学校との連携
- ⑤ 平等院表参道商店会と源氏タウン銘店会との連携
- ⑥ 地域NPO団体との連携
- ⑦ その他

## 8、財政基盤が堅固な商店街づくり

健全な商店街運営を行うには、効率的で持続可能な財政体質の確立が必要不可欠です。必要経費をできるだけ抑制し、活動費となる自主財源を確保することが重要であると考えます。

- ① 費用対効果の検証
- ② 事業収入等の研究
- ③ その他